

A Hands-on Web3 AI Vibe Coding Workshop

はじめに：講師紹介

Haruki

UNCHAIN Admin

- Web3エンジニア
- ETH Tokyo'24 finalist

X: @haruki_web3

GitHub: mashharuki



本日のアジェンダ

1. オープニング、自己紹介 (5分)
2. 本日のゴールと流れ (5分)
3. AI Vibe Coding ライブデモ (10分)
4. AI Vibe Coding のコツ (10分)
5. ハンズオン (90～125分)
6. まとめ、振り返り (5分)
7. 成果発表 & 交流会 (20～55分)

本ワークショップのゴール

このワークショップが終わる頃、あなたは...

- 素早く Web3アプリのプロトタイプを開発するコツが手に入ります
- AIの力を最大限に引き出す 「コツ」 が手に入ります

AI Vibe Coding ライブデモ

「AIと一緒にdAppが生まれる瞬間」

これから、**AIとの対話**を中心にDEXのプロトタイプを
ゼロから構築する様子をお見せします。

お題： AMM DEX

1. 要件定義書の作成
2. タスクリストの作成
3. 実装開始

AI Vibe Coding のコツ

これを知っているだけで、
AI駆動開発体験は劇的に向上します！
特に重要な4つのポイントをご紹介します。

コツ①：複数のモデルを使い分ける

「得意なこと」はAIによって違います。

- コーディングが得意なモデル
(例: Gemini 1.5 Pro, GPT-4o)
- アイデア出しや壁打ちが得意なモデル
(例: Claude 3 Sonnet)

コツ②：MCPでAIの機能を強化する

MCPを使うとAIはあなたのプロジェクトの
強力な「**専属アシスタント**」になります！

コツ②：MCPでAIの機能を強化する

- ファイル構造やコーディング規約をAIに直接教え込むことができます。
- これによりAIはプロジェクトの文脈を深く理解し、よりの確なコードを生成してくれるようになります。

コツ③：段階的に進める

一度に完璧を目指す必要はありません。

「小さく作って、すぐ試す」が成功への近道です。

コツ③：段階的に進める

- 要件定義とタスクリストを作成する。
- 次に**核となる機能**を実装する。
- それが動くことを確認する。
- 次の機能を追加する。

コツ④：カスタムインストラクション

AIへの「**指示の出し方**」も重要です。
カスタムインストラクションファイルを
事前に準備しましょう。

明確な指示が、AIの力を最大化します！

Hands-on Time!

(90～125分)

1. 基本編：DEX（分散型取引所）開発

- まずは用意されたお題で、AI Vibe Codingの基本フローを体験！

2. 応用編：オリジナルdApp開発 (時間があれば)

- あなたの自由なアイデアで、世界に一つだけのdAppを創造しよう！

ハンズオンの手順

- 要件定義書とタスクリストを作成する(Gemini)
- プロジェクトのセットアップ(Claude)
- スマートコントラクトの開発(Claude)
- フロントエンドの開発(Claude)

見本のGitHub

GitHub -Web3AIVibeCodingStarterKit

見本のドキュメント

以下のドキュメントを参考にしてください！

プロンプト

要件定義書





タスクリスト

本日のまとめ

今日、私たちはAI Vibe Codingの世界を探求し、
その驚くべき可能性を体験しました。

本日のまとめ

成功の鍵となる4つのポイント

-  複数のモデルを使い分ける
-  MCPを使ってAIの機能を強化する
-  段階的に進める
-  カスタムインストラクションのセットアップ

Thank You!